



田邊 まちなみ ガイドライン

街道と歴史が織りなす にんやか田邊郷

田邊の歴史的、文化的資源を活かし、より魅力的なまちなみをつくるための方針を、「田邊まちなみガイドライン」としてまとめました。魅力あるまちなみを将来に引き継いでいくためにご活用ください。

にんやか田邊
田邊HOPEゾーン協議会

たなべ 田邊のまちなみづくりに向けて

1. 田邊の歴史とまちなみの特徴

(古代)

田邊は、古くは難波宮から飛鳥・住吉につながる難波大道が通っていた場所で、聖武天皇のとき(8世紀前半)に「撰津住吉郡田辺ノ郷人田辺ノ史直立」(『氏族志』)と田辺の名がみられるなど、古代より長い歴史をもっています。

また、住吉大社の神馬が逃げ出したおりに、田邊を大変気に入ったということで、神馬の厩務場所になったという神馬伝説も残っています。

(中世～近世)

中世には四天王寺南大門前より庚申堂前を過ぎ、川辺村(現 平野区長吉川辺)につながる庚申街道筋に北田邊村、同じく天王寺村より狭山を経て高野山につながる下高野街道筋に南田邊村が成立します。近世には綿や田辺大根、天王寺蕪などの名産地として農業が盛んに行われました。この頃に創建された多くの寺は、現在も地域の方々に親しまれています。



明治18年の古地図にみる街道と田邊郷・住吉郷・平野郷

(近代)

近代に入ると、北・南田邊村ほか4か村が合併し、田邊村が、その後、田邊町が誕生します。南海平野線の開業や耕地整理などの近代化が進むとともに、農地に長屋を建てた貸家経営が盛んに行われました。この頃に建てられた長屋や屋敷が今も田邊には残っています。

北田邊が農家の屋敷が建ち並ぶ農村集落の雰囲気を残す一方で、南田邊には青バス(民営バス、昭和15年市営化)が乗り入れ、官公署施設や映画館、銀行などの娯楽・業務施設が建ち並び、ダンスホールやビリヤード場などのモダンでハイカラな文化が花開きました。また、南田邊には別荘風の瀟洒な住宅地もつくられました。

第二次大戦時には模擬原子爆弾が田辺小学校の近くに投下され、大きな被害を受けるという不幸な出来事がありましたが、田邊の多くは戦災を免れることができました。

神馬伝説と田邊

神功皇后の伝説によると、住吉大社の御三神が三韓より持ち帰り、寵愛していた神馬“さめ”が失踪し、田邊で見つかった。それ以後、田邊を気に入った神馬を橘家が飼い、毎日住吉大社へ連れて通ったとされる。“さめ”の墓所跡である神馬塚跡が今も残る。また、神馬の御厩が南北田邊それぞれにあったと伝わる。



神馬塚跡



田辺大根



創建当時の法楽寺(平安時代1178年)
「撰津名所図会」(大阪府立中之島図書館所蔵)



南海平野線田辺駅
(大正3年開通)



国鉄(現JR)阪和線南田辺駅
(昭和4年開通)



南田辺の市場附近

(現在)

田邊に残る伝統的な建物をみると、農村集落の名残を残す農家の屋敷や農地に建てられた長屋、近代になって建てられたタイル壁の店舗型町家など、農村集落から近郊住宅地へと発展した様子をうかがい知ることができます。

今日でも田邊のまちをそぞろ歩けば、農村集落の土の薫りを感じられる北田邊、農村集落にモダンな文化が花開いた南田邊、そして神馬塚やさまざまな社寺など古代から受け継がれてきた田邊の歴史や伝説の厚みを感じられるまちなみと出会うことができます。

また、社寺の林から庭木・植木鉢まで、大小さまざまな緑がうるおいのあるまちなみを演出しています。

このような古い歴史や文化などの資源を活かして、住民が中心となって、活発なまちづくり活動が展開されているのも、今日の田邊の魅力のひとつです。



現在の下高野街道



現在の庚申街道

田邊にみられる伝統的な様式の建物



屋敷



長屋



町家

2. まちなみづくりのテーマ

このような田邊の歴史やまちなみの特徴を踏まえて、さらに田邊らしいまちなみとしていくために、にんやか田邊(田邊 HOPE ゾーン協議会)では、田邊が目指す将来的なまちなみのイメージとして、次のようなテーマを設けました。

街道と歴史が織りなす にんやか田邊郷

田邊は庚申街道や下高野街道、難波大道など数多くの街道が交差し、古代から今日に至るまで、さまざまな歴史や文化を連綿と織りなしてきました。このテーマには、これらの資源を活かしながら、地域の方々と一丸となって、にんやかに(田邊の方言で「にぎやかに」の意)まちなみづくりを進めていきたいという思いが込められています。

また、古くから用いられてきた「田邊郷」という言葉を使うことで、まちなみだけではなく、田邊に住む人々や田邊を訪れる人々にとっての心温まる「ふるさと」になってほしいという願いを表現しています。なお、にんやか田邊では、田邊の歴史的な背景を大切にするため、田邊を「田邊」と旧字を使って呼ぶことにしています。

にんやか田邊は、このテーマの実現に向けて、大阪市HOPEゾーン事業(詳しくは中面をご覧ください)を活用し、大阪市と連携して、まちなみの修景整備(まちなみをつくること、整えること)を進めています。みんなで力を合わせて、田邊らしいまちなみづくりに取り組んでいきましょう。

田邊のみどり

田邊には大阪府指定の天然記念物である法楽寺の楠や大阪市指定の保存樹林である法楽寺境内の樹林、山阪神社境内の樹林などがあり、田邊の長い歴史とともに歩んできた大樹が今も田邊のまちを見守っている。

また、屋敷の塀越しには柿や木蓮などの庭木が覗き、長屋や町家の軒先には色とりどりの花を咲かせる植木鉢が並ぶ。伝統的な建物だけでなく、新しく建てられた住宅やマンションの周りにも、住民に丹念に手入れされ、親しまれている緑が多く、四季折々の表情をみせている。



法楽寺の楠



山阪神社境内の樹林



北田邊の大楠



軒先の緑

まちなみづくりの方針

田邊らしいまちなみを実現するために、ここでは大きく3つの方針を示しています。写真やイラストで示した田邊の伝統的なデザインを活かしながら、田邊らしいまちなみを次世代に継承していきましょう。

1. 昔ながらの建物は、建築当初のデザインに修景し、次世代に継承しましょう

田邊に今でも残る昔ながらの建物には、つし二階^{はこのき}や箱軒^{そでうだつ}、袖卯建^{でごうし}、出格子^{こまよせ}、駒寄など伝統的な建物特有のデザインが随所にみられます。これらのデザインにはそれぞれの建物が建てられた時代の背景や当時の流行などが反映されており、長い歴史の厚みを感じ取ることができます。

昔ながらの建物は、これら建築当初のデザインを尊重して修景することで、歴史の厚みのあるまちなみを次世代に継承しましょう。

昔ながらの建物の修景の例（平野郷地区）



建築当初の姿に戻し、看板などをまちなみの雰囲気に合わせています。

修景とは、まちなみをつくること、整えることをいいます



つし二階

二階部分の天井が低くなったものをいい、田邊では、本二階への移行期のやや天井の高いものがみられます。



はこのき
箱軒

2階の軒先を箱段状にし、防火のため、銅板で覆ったものやモルタルで塗り固めたものをいい、田邊でも多くみられます。



げや
洋館風の下屋

建物本体についた付属屋を下屋といい、田邊では近代に建てられた住宅に洋館風のものが見られます。

駐車場やマンションの塀はまちなみに配慮する

例：板塀など自然な素材や色彩でつくる など

道路沿いや庭の植栽で、まちなみを演出する

例：生垣を設ける、庭木の手入れを行う、古くからある木を保存する など

2. 屋敷や長屋などの塀や門、軒庇、植栽で、まちなみの連続性をつくります

伝統的なまちなみの特徴は、一階の軒庇や塀、視線に近い位置にある瓦屋根などの連なりが、まちなみの統一感を印象づけ、まちを歩く人たちに親密な印象を与えてくれるところにあります。

田邊には、塀や門のある旧農家の屋敷や社寺、塀付きの近代長屋などが多いという特徴があります。これらの塀や門を大切に残し、まちなみの連続性をつくります。

また、軒庇や塀が設けられなくても、道路に面して、生垣やちょっとした植栽をしつらえることで、まちなみの連続性をつくることもできます。



屋敷の塀や軒庇の連なりがまちなみに統一感と親密な印象を与えています。



土蔵

田邊では塀の並びに建てられたものがみられ、まちなみのアクセントになっています。



煙出し

古くはへっついさん(かまど)で煮炊きをしたため、台所の上には換気用に煙出しが設けられていました。



こまよせ
駒寄

元は牛馬をつなぎとめておく柵で、現在は軒下に人が入るのを防いでいます。

建築当初のデザインや素材を尊重し、継承する

例：建築当初のデザインや素材に戻す、建築当初のデザインを活かした改修を行う など



庇や塀、植栽により連続性をつくる

例：1階に庇を設ける、塀・植栽を設ける など

塀・門などはまちなみに配慮する

例：塀・門などは伝統的なデザインに修景する など

ホープ 大阪市HOPEゾーン事業について

HOPEゾーン事業は、大阪市が地域の方々と協力して、歴史や文化などの地域の特色を活かした魅力あるまちづくりを進めるものです。

田辺地区 HOPE ゾーン事業区域（裏面エリア図参照）では、旧街道が行き交い、旧集落のお屋敷や町家・長屋などの伝統的な様式の建物が多く残る地域の特徴を踏まえた、田辺らしいまちなみづくりを目指しています。

なお、HOPEゾーンの「HOPE」は「HOusing with Proper Environment」の略です。「地域それぞれの文化・歴史・自然といった幅広い意味での環境を活かした居住地づくり」という意味があり、「HOPE」という言葉本来の「希望」という意味も込められています。

～ まちなみ修景補助制度 ～

地域のみなさんと連携・協働で進める大阪市 HOPE ゾーン事業の一環として、田辺地区（裏面エリア図参照）では、当ガイドラインに基づくまちなみづくりを支援・促進するため、まちなみ修景補助制度を実施しています。

この制度では、建物や塀・門などの改修・新築を行う際に、市が定める補助要件を満たす修景を行う場合、修景工事にかかる費用の一部について補助を受けることができます。

補助要件

「伝統的建築物」「新しい建築物」「塀等」の3つについて、別途定める修景基準をすべて満たしていれば、修景補助を受けることができます。

さらに、「重点的に沿道建物の修景整備を進める道路」（裏面エリア図参照）の沿道では、修景基準の一部を満たしていれば、修景補助を受けることができます。

補助の概要

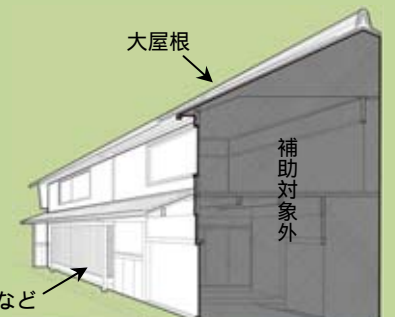
補助の対象となる費用

補助要件を満たす修景工事にかかる費用のうち設計費（工事監理費を含む）と工事費を合計したものになります。

別途、設計料率（限度額）を定めています。

補助率等

補助の対象となる費用の3分の2以内、かつ限度額以内の費用が補助されます。（1敷地あたりの限度額及び年間の補助予算総額は変動します）。



専門家相談（申し込み制）

修景工事について、専門家に相談することができます。にんやか田邊（田邊 HOPE ゾーン協議会）にお申し込みください。

修景基準・補助の内容などの詳細は下記までお問合せください

大阪市都市整備局 企画部 まちづくり事業企画担当

〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20 市役所6階

（電話）06-6208-9221 （FAX）06-6202-7064

（Eメール）ka0001@city.osaka.lg.jp

3. 新しい建物は、伝統的な建物に調和するデザインとし、まちなみになじむように工夫しましょう

伝統的な様式以外の建物やこれから建てる新しい建物についても、伝統的な建物と調和するように配慮することで、まちなみの連続性や雰囲気をつくりだすことができます。

例えば、外壁に落ち着いた色彩や自然素材を用いたり、屋根を和瓦で葺いたりする他にも、広告物・看板や自動販売機、空調の室外機、駐車場の出入口をまちなみに配慮した場所に設置したり、デザインに工夫したり、小さな部分から田辺らしいまちなみを積極的につくりていきましょう。



新しい建物や付帯設備も、ひと工夫すれば、まちなみになじみます。



そでうだつ
袖卯建

隣家からの類焼を防ぐため二階の庇の両脇に設けられました。



でこうし
出格子

外壁から一尺から一尺半（約30～45cm）出してつくる格子です。



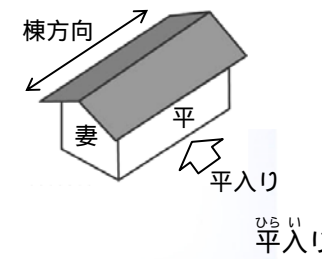
かやぶき
茅葺屋根

旧農家では、かつて茅葺きだった屋根もあり、現在は金属板葺きに変わっています。



しょうき
鐘馗

鐘馗（しょうき）は中国を由来とする神様で、屋根の上や二階の外壁につけると魔除けの効果があるといわれています。



田辺の町家や長屋は、建物の棟方向が道路と並行で、道路に面して入口がある平入り形式が多くみられます。

看板や広告物はまちなみに配慮する

例：自然素材や落ち着いた色調でつくるなど

空調室外機や自動販売機などの設備・付属物は設置場所に配慮し、周囲と調和したデザインにする

例：通りから見えにくい場所に設置する、木の格子で囲う、落ち着いた色調にする など

ひらいり
平入り勾配瓦屋根を基本とする

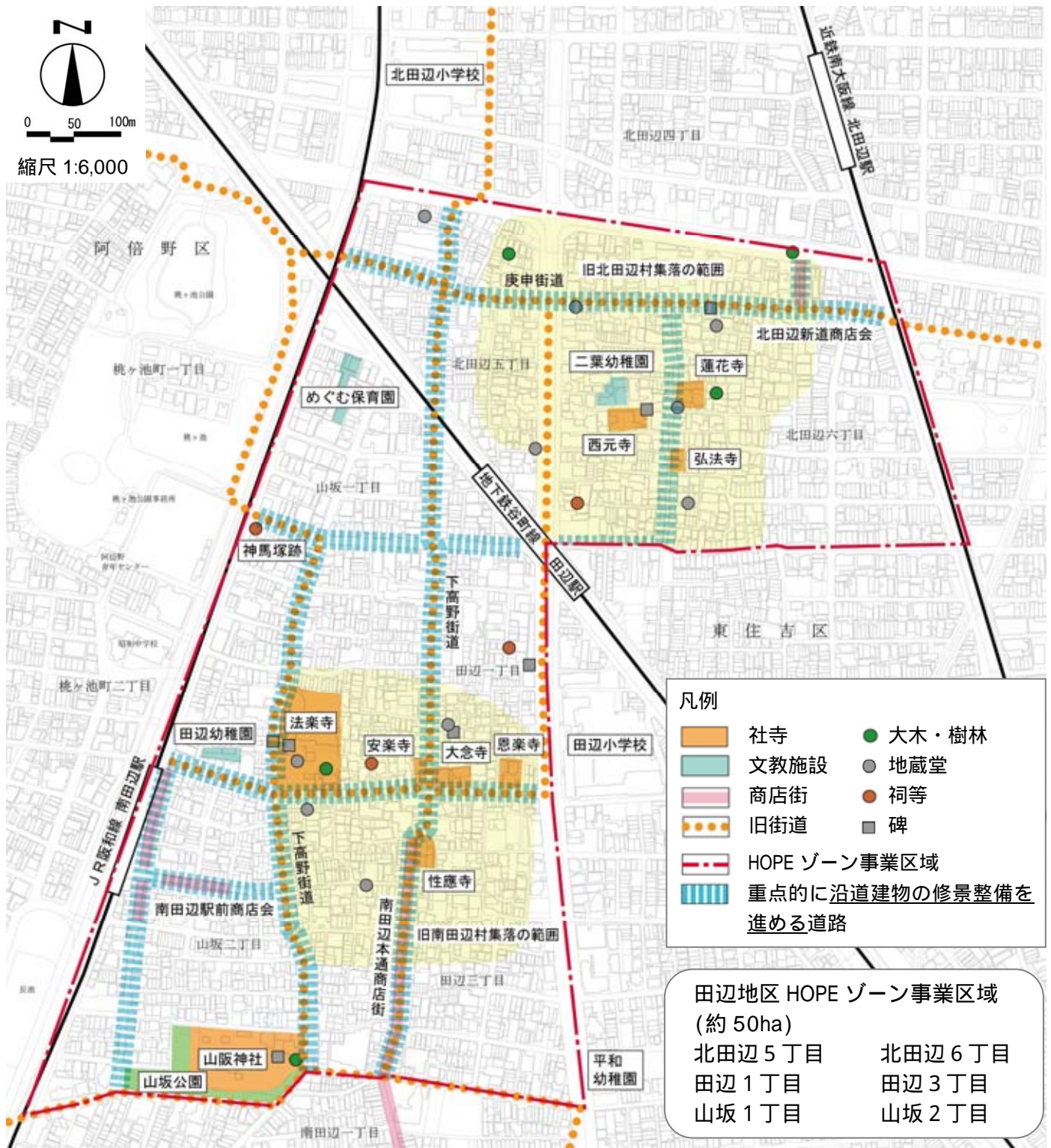
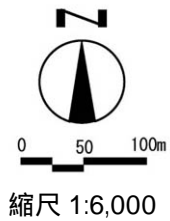
軒下空間のとり方を工夫する

例：1階に庇を設置する、軒下に石を敷く など

伝統的な建物にみられる形態・意匠を活用する

例：格子で開口部を覆う、外壁を板張りや漆喰塗にする など

エリア図



にんやか田邊(田邊 HOPE ゾーン協議会)について

田邊 HOPE ゾーン協議会は 2008 年 7 月 10 日の設立総会で設立されました。地域の人々でワイワイ、にぎやかにやってゆこうということで、協議会の愛称を「にぎやか」を意味する田邊の方言「にんやか」を使って、「にんやか田邊」と名付けています。

にんやか田邊は、HOPE ゾーン事業のガイドライン作成や PR、協議会ニュースの発行、まちづくりイベントの開催などを通じて、田邊の魅力づくりを進めていきます。

協議会ニュース
「にんやか田邊」



発行

にんやか田邊(田邊 HOPE ゾーン協議会)

企画・編集

にんやか田邊(田邊 HOPE ゾーン協議会)
大阪市都市整備局

制作協力

(株)市浦ハウジング&プランニング

2009年8月発行